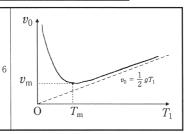
一般入試後期D日程

物理

Ι

1	$x = \bigcup_{o} \cos \theta t$ $y = \bigcup_{o} \sin \theta t - \frac{1}{2} g t^{2}$	ア	9 T1 2 2 X1	オ	e Vo sin O
2	<u>V² sin²θ</u> 2 2	イ	V2L	カ	e
3	2 Vo sin O g	ゥ	$\sqrt{\frac{2L}{g}}$	7	音や熱のエネルギー
4	2 Vosind cos 0	エ	45°	8	<u>T,</u> 1-e

 $X_{1} = V_{0} \cos \theta T_{1} \pm i y \cos \theta = \frac{X_{1}}{V_{0}T_{1}}$ $tan \theta = \frac{gT_{1}^{2}}{2X_{1}} \pm |+tan^{2}\theta = \frac{1}{\cos^{2}\theta}$ $1 = t^{2} + t$



II

1	ア= Q rol si) 電気容量は = sod となる					
2	抵抗により ジェル 熱をいれ 消費された					
3	(d+2d)Q ² 2&S	5	& SV d+2d			
4	<u> </u>	6	2 SV ² 2 (d+Δd)			
7	コンデンサーに善えられた電気量の一部を電源、 のつくる電位に強らって運ぶ仕事に使いれた。					
8	F_0 O	アイ	1-x (Er-1)x+1 Erx [Er-1)x+1			
9	コンデンサーか、仕事を12静電エネルギーか派がするのはタが増加するときたがから、コンデッサーから誘電体を超板間に引き込む向また力がはならく					

Ш

ア	2r (0s 8	オ	$\frac{1}{2}NmV^2$
1	0	1	3 P, V
ウ	2 p cos 0	カ	hv
エ	N m ν² 4π r³	+	Npc

容器内の光子気体のエネルギー密度 u は、②式 s y. u = 3NE 2 え ま n z w s。 z い と②式 の る辺に 徳 用 引 s y x P2 = 4元 r x る の で、 面式 の で、 面式 で T2 P2 = 4元 r x で あるので、 面式 の な そ z と に 較 する x x と = p c を 得 s , 最 後 に 固 で 11回の 以 + の z ネルギーは を = h u x 去 れ t u x の で、 運動 号の たきさ P に p c = h u x x s。 x , z , p = セ で で 得 3。 h u p = で で コンプ・トン